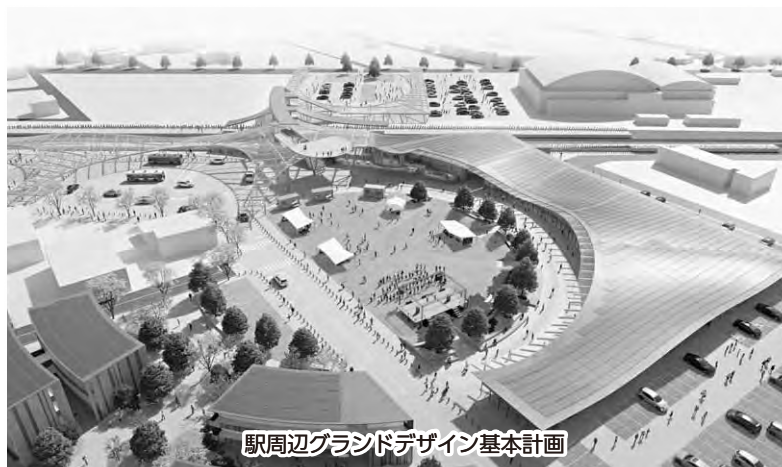




駅周辺グランドデザイン基本計画

多くの皆様のお力添えによって、なんとかここまでまいりました。帰還された方や縁あって浪江に来られた方、未だ避難中の方、他所へ移住された方を含め、浪江を故郷とする全ての方々が「誇らしい、と思える町にしたい、という一心で取り組んでまいりましたが、まだまだ復興は道半ばであります。

令和3年度から「持続可能なまちづくり」に向けた「浪江町復興計画【第三次】」がスタートし、今年6月には、介護施設、子供の遊び場や図書コーナー等を有した「ふれあいセンターなみえ」がオープンしました。

そして、中心市街地の再生に向けて隈研吾氏らと進めている駅周辺整備事業についてもグランドデザイン基本計画が示され、いよいよこれから本格的に事業が始まります。

また町では、福島イノベーション・コースト構想の中核となる「福島国際研究教育機構」の誘致を、議会、各種団体等々とともに「オール浪江」で進めてまいりました。この施設は、町の復興・創生の成否を左右するような重要な施設ですので、今後に注目していきたいと思います。

一方で、帰還困難区域の問題は、ようやく動き始めたところであり、これから町が果たすべき役割は非常に大きいと考えています。令和5年春に避難指示解除を予定している特定復興再生拠点区域（津島、末森、室原）では、準備宿泊に向けて役場機能（津島支所）の再開や生活用品の移動販売、デマンドタクシーなど、最低限の道筋をつけたものの、拠点外の地域においては、国からの住民説明会が始まったばかりです。

さらに、農林水産業などの生業再生に向け「復興牧場（仮称）」や育苗施設、鮭ふ化施設等々、多くの復興事業や取り組むべき課題がありますが、新しいリーダーの下で力を結集し、何としてもふるさとの復興を成し遂げていただきたいと思います。



震災遺構浪江町立請戸小学校

ありますが、これからは一町民として「ふるさとなみえ」の発展を見守ってまいります。

末筆となりますが、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、略儀ながら退任のご挨拶とさせていただきます。

令和4年8月

浪江町長 吉田 毅博

新しいリーダーとともに

多くの皆様のお力添えによって、なんとかここまでまいりました。帰還された方や縁あって浪江に来られた方、未だ避難中の方、他所へ移住された方を含め、浪江を故郷とする全ての方々が「誇らしい、と思える町にしたい、という一心で取り組んでまいりましたが、まだまだ復興は道半ばであります。

令和3年度から「持続可能なまち



移動販売の開始

町民の皆様へ

多くの皆様からのご支援、ご協力によって、町長という重責を大過なく全うすることができました。本当にありがとうございました。心より感謝を申し上げます。

先人から受け継いだふるさとを守り、子や孫たちが誇りをもって住み続けられる町にしたいと、この4年間必死に取り組んでまいりました。道半ばでは



退任にあたって

未だ避難先にて、不自由な避難生活を強いられている方々に、心よりお見舞い申し上げます。

私事で恐縮ですが

令和4年8月4日をもって任期を満了し、浪江町長の職を退任いたしますので、この場をお借りしてご挨拶を申し上げます。

浪江町の復興は道半ばであり、今、町長の職を退くことは大変心苦しいことではありますが、町長の重責を果たすには高齢であり、健康を維持し続けることへの不安から、浪江町の更なる発展のため新しいリーダーへ引き継ぐことといたしました。

4年間を振り返って

町内の一部で避難指示が解除されて約1年半の平成30年8月5日に町長に就任し、居住人口805人という状況の中、最優先に取り組んだのは、帰還に向けた不安を解消するため、スーパーなど生活環境の整備を進めることでした。そして、請戸漁港の再開や福島水素エネルギー研究フィールドの開所、その後の水素事業へとつながる「ゼロカーボンシティ宣言」や「なみえ水素タウン構想」の発表など、町の産業や経済の基盤を築くことに注力してまいりました。



道の駅なみえ



NAMIE WATER モンドセレクション 2年連続金賞受賞

『金賞』を2年連続で受賞したことや、東京オリンピック、パラリンピックで浪江産の水素が聖火を灯し、メダリストに浪江産のトルコギキョウが贈られたことなども印象に残っています。



イオン浪江店の開店

町民の方々が集い絆を深める機会として企画した「町民号」や「町民運動会」「芸能祭」等が、コロナ禍、相次いで中止となったことは残念でしたが、道の駅なみえ、請戸住宅団地、震災遺構浪江町立請戸小学校、いこいの村なみえ、福島高度集成材製造センター、カントリーエレベーターなど大規模な復興事業の完成が続き、4つの産業団地では、順調に雇用創出に向けた企業誘致が進んでいます。また、未来を生きる子供達のために力を入れている再生可能エネルギー事業では、特に米

国のランカスター市と締結した水素利活用に関する連携協定が、歴史的な挑戦として世界から注目され、多くの企業や各国大使が視察にみえており、今後の経済効果が期待されています。

他にも、町の水道水「NAMIE WATER」がモンドセレクション



エネルギー研究フィールド開所式典
福島水素エネルギー研究フィールドの開所
rogen Energy Research Field Opening Ceremon